

理科教育賞受賞校インタビュー 『実施校の先生に聞く』

理導入の工夫、単元全体の構想、見方の明確化で、子どもたちの主体的な問題解決を導く — 神奈川県川崎市立下沼部小学校

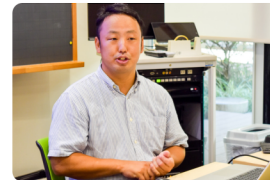
子どもたちが自ら疑問・問題を見出し、その解決を主体的に行おうとする姿勢をいかに育むか。これは主体的な学びが求められている今において、多くの学校が抱えているテーマかもしれません。このテーマに対し、授業の工夫などにより確実な成果を上げている学校があります。神奈川県川崎市立下沼部小学校は、日産財団理科教育助成で「見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む理科・生活科の授業づくりー子どもが主体的に動き出す授業を目指してー」という研究に取り組み、子どもたちの「自分で疑問や問題を見つけている」といった意識の高まりを見取ることができました。—続きはHP—

子どもたちが学びを「自覚」して「変わる自分を楽しむ」授業を実践 — 福岡県北九州市立湯川小学校

「教えられて学ぶ」から「自ら学ぶ」へ。多くの学校が教育におけるこの転換に取り組んでいることでしょう。挑戦と試行錯誤が多く、学校現場で見られるなか、確実な成果を上げている学校があります。福岡県北九州市立湯川小学校は、日産財団理科教育助成による研究「自ら学び、問い続け、変わる自分を楽しむ子どもを育む学習指導」で、この課題に真正面から取り組み、「学んだことを自覚する子ども」を育てられました。同校は第11回理科教育賞で、「学習者自身が自己の変容を自覚していくことに焦点をあてた」と評価され、大賞を受賞しました。—続きはHP—

「車づくり」を通じて新たな価値を創造できる子を育てる — 成城学園初等学校

生きるための知識技能より先進的ととれる「価値創造力」を、身近な題材を通じて子どもたちに身につけさせようとする学校があります。私立成城学園初等学校は、創造性をもって新たな「価値」を生み出せる人を育てるため、理科で「車」を題材に「エネルギーの目」を育む「車大単元」を設け授業を展開。エネルギーの見方の変容や、問いの更新、また多様な価値観を認める姿勢の体得といった価値創造につながる成果を得ています。今回、取材に応じてくださった副校長の高橋丈夫先生は、研究を「現状の教育の『先』を行く取り組み」と評価。理科研究部の一員で研究をおこなった岡崎真幸先生は、「子どもたちの『こうしたい』にできるだけ応えてあげられるよう努力した」と述べます。—続きはHP—



インタビュー実施校一覧

- 川崎市立下沼部小学校
- 栃木市立赤津小学校
- 福岡市立香椎東小学校
- 会津若松市立謹教小学校
- 北九州市立湯川小学校
- 足利市立梁田小学校
- いわき市立渡辺小学校
- 横浜市立神奈川小学校
- 成城学園初等学校
- 牛久市立牛久第二小学校
- 東京学芸大学附属竹早中学校
- 銚田市立銚田南中学校



全インタビューは
こちらからご覧いただけます
<https://www.nissan-zaidan.or.jp/interview/>

リカジョ育成賞 受賞者インタビュー

理系のおもしろさを伝える活動で、興味のきっかけをあたえ、自分たちも成長する — 高知工業高等専門学校

科学や工学のおもしろさを伝える活動で、科学や工学に興味をもつ女子を増やすとともに、自分たちも成長を遂げていく。そうした好循環を工業高等専門学校（高専）がつくっています。高知工業高等専門学校では、女子生徒からなる女子会組織TGK（Techno-Girls of Kochikosen）が、学校内外でのイベントを自分たちの発想やセンスで企画し、地元の子小中学生に、科学や工学への興味を抱ききっかけをあたえつつあります。—続きはHP—



インタビュー実施団体

- 高知工業高等専門学校
- 国立大学法人お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所
- 大阪公立大学 理系女子大学院生チームIRIS（アイリス）



全インタビューは
こちらからご覧いただけます
<https://www.nissan-zaidan.or.jp/interview2/>